

第 1632 回例会報告

会長挨拶

会長 西澤賢二

横浜南ロータリークラブ

先月(1629回)の挨拶で話をした横浜南ロータリークラブの水谷さんに諏訪湖ロータリークラブ30周年DVDと35周年のUSBメモリーを送ったところ先週末返事がありました。

月餅のお菓子を送って貰ったのですが、私が知らない間に孫が食べてしまい持ってくることはできませんでしたが、ロータリーの友情で勘弁してください。しかし諏訪湖ロータリークラブ宛にお礼の手紙を頂きましたので報告いたします。



文面ですが『早速に視聴させていただきました。初めて見る私達でもとても感動しました10前から継続して奉仕活動をされてきたクラブ会員の皆様にとっては、この上に無い感動と喜びだったと思います私たちクラブも心の底から感動できる様な、有意義な奉仕活動をしていきたいと改めて考えさせられました』という文面です。

其処で問題なのが私個人のロータリアンとしての出会いだったのですが

令和2年2月20日(木)晴れ

水谷さんも私との出合いを会員に話をしたようで、是非諏訪湖ロータリークラブにメイキャップに行こうと決めたようです。

3月、4月の理事会のない日及び休会日以外でご連絡を頂ければ…と伝えたところ4月2日に前泊組と日帰り組でメイキャップに来ると連絡がありました。

改めて、諏訪湖ロータリークラブの活動とロータリアンとしてバッジを着ける重みを感じました

来週27日1633回例会ですが取引先の都合でどうしても子会社への出張になりお休みさせていただきます小口副会長の為になるお話があると思いますので宜しくお願いします

◇幹事報告◇

【受領文書】

1)ハイライト米山が届きました。回覧します。

第 1632 回例会 米山留学生卓話

上田東 RC 小田中 議 会長

本日は米山奨学生フサイン・ナディール君が来訪し米山奨学生卓話をしていただく予定でしたが、お父さんが急にお亡くなりになり、急遽スポンサークラブの上田東 RC 小田中議会長がご来訪いただきお話をいただきました

原稿を送っていただきましたので記載いたしますが、このほかにも上田東 RC の奉仕活動など多岐にわたりお話しいただきました。

♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のこぼ
会員数	38人	4名	10000円	小田中様本日はよろしくお願いいいたします。 西澤 賢二 来週は健康診断です。血液をとりますので、しばらくお酒は控えましょう。 小笠原 仁 来週2月27日は政府主催の再犯防止推進特別委員会に出席のため、欠席にします。欠席ばかりでスママセン。もう少しで保護司定年退任となりますので、ヨロ御市区お願ひします。 小林 聖仁 上田東RCの小田中です。ナディール君突然の不幸でピンチヒッターとなります。よろしくお願ひいたします。 小田中議
出席対象	37人	累計	390000円	
出席者数	24人	目標額	60万円	
出席率	64.90%	達成率	65.00%	
前回修正	76.30%			

Hussain Nadir 君の紹介

1) 名前 フサイン・ナディール ➡ これは地区プログラムの表記 フセインかハッサンか… クラブでは、「ナディール君」と呼んでいる。

2) 所属 信州大学 繊維学部 機械システム工学科 博士課程2年

3) 研究テーマ High Performance Super-Capacitors based composite of Graphene / polyaniline Nanofibers via electrospinning.

4) 出身と家族構成

パキスタン出身 30歳

お父さん(70歳くらい…今回ご逝去) 威厳がある、マハラジャみたい

お母さん(50歳くらい)

お姉さん1人、弟3人、妹1人

5) 宗教

イスラム教徒

豚肉が食べられない(今回も諏訪湖 RC さんにご配慮いただいた) 茸も苦手、みんなで鍋をつつくのは苦手。上田東 RC の松茸懇親会、最初にとりわけ一口だけで、全然箸をつけなかった。

牛肉、鶏肉、卵は食べられる。ラマダンの月に例会出席することがあったが、例会中、水も飲まなかった。

4) 米山奨学生へ応募は海外から

海外に居住する学生が、応募できる制度を利用。



小田中譲会長のお話

彼のパキスタンでの指導教員が、信州大学繊維学部教授金翼水(きんよくす)先生のもとで研究者として働いており、そのついで、海外応募奨学生

として来日することになった。金教授も米山の学友で、今まで多くの留学生を受け入れている。ナディール君は、米山奨学会のネットワークの中で自然に日本に導かれた学生といえる。

期間は2018年10月～2020年9月、

5) カウンセラー所見より(2019年10月提出分)

ナディール君が来日して1年余、日本の環境にも慣れて研究も順調のようです。時々食事をしたり、人生について話し合ったりしています。彼と話し合っていて気がついたことは、自分の立ち位置をしっかりと持っていると言うことです。

私は現在も大学で教鞭をとっていますが、日本人の学生と比べて自分の文化にしっかりとした認識をもっていることです。彼はイスラム教徒ですから当然イスラム教の教義に従って生活しているわけですが、その宗教のおかげで自分、自分の親、親戚そしてパキスタン人としての繋がりを明確に意識することができています。どのようにして生活費をゲットするか、どのようにして研究論文を作り上げるか、そして将来につなげていくか着々と具体的な目標設定をすることができます。可能性のある方へ、しかし自分を見失わないように。これが彼の立ち位置です。日本国が置かれている状況も良く理解しています。日本はどのような国なのか、日本人がどのような精神状態なのか、知った上で、彼は日本で生きていくことの最適化をしているように思います。

かたや日本人の学生は、自分たちが置かれている状況を把握している様子がありません。全てを曖昧にしておくことが精神上安寧なのだと思うようにしているようです。世界が常に動き続けていることに違いがありませんが、どのように何処に動いていくかを知らずとしない学生が多いようです。日本を担う最高学府の学生ですから、考えることが自分の命を守ることと欲しているのですが。ナディール君にはかなわないようです。